

水産物



熊本県 熊本県海水養殖漁業協同組合(天草市) 『鮮魚・活魚(ブリ、マダイ)を世界へ』

【主な品目】

ブリ、マダイ、シマアジ、カンパチほか

【主な輸出先国・地域】

韓国、香港、シンガポール、アメリカ ほか

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成23年香港、シンガポール向け輸出を皮切りに、30年には15の国と地域へ販路拡大。
- ◆ 鮮魚にこだわり、鮮度及び品質向上のための機器を導入し輸出量増加。
- ◆ 今後は、EUへの輸出を目指す。

【輸出実績】(平成23年度から輸出開始)

	輸出額(百万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成30年度	481	417	通年
平成29年度	374	383	
平成28年度	326	351	

【効果があった取組】

ジェトロ、県などが行う商談会に積極的に出品することで、販路を拡大。

【取り組む際に生じた課題】

- 1 輸出に関する知識の不足。
- 2 当初は夏場の温度管理等の問題でクレームが多かった。
- 3 顧客によっては、魚のサイズに厳しく、引き取り拒否もあった。

【生じた課題への対応】

- 1 事前に国内のセミナー等を数多く受講することで、知識を習得。
- 2 電気ショックで魚を気絶させるフィッシュスタンナーと素早く魚体温を低下させるシルクアイスシステムを導入することで、鮮度維持と品質の向上を実現。
- 3 国内加工場で細かくサイズの仕分けを行うことにより、サイズを統一。

【対応の結果】

- 1 輸出する国と地域を15箇所まで拡大。
- 2 鮮度維持、品質の向上を実現したことで、輸出量の増加に繋り、販売額全体に占める輸出額の割合が15%近くまで増加。
- 3 ニーズに対応したサイズに統一することで、顧客の信頼を得た。

【今後の課題・展望】

EUへの輸出に取り組む。EU向けは、より高度な衛生要件を満たす必要があるため、令和元年度に加工場施設の整備を行う予定。

【活用した支援・施策】輸出促進機器整備事業、流通促進取組支援事業ほか

【ウェブサイト】<http://marukuma.or.jp/>

【連絡先】担当者名 藤本、金棒 TEL:0969-72-1221



(生簀からの取り上げ)



(ボストンでのセミナー・商談会)

